

大関のこども



坂井市立大関小学校

学校だより第32号

令和4年12月13日

HPアドレス

<http://www.ozeki.ed.jp>



「家読」へのご協力、ありがとうございました！

読書が、家庭内でのコミュニケーションにつながりました！



11月は読書月間ということで、全ご家庭で「家読（うちどく）」に取り組んでいただきました。保護者やご家族の皆様にはお忙しい中、お子様と一緒に読書に親しんでいただき、心より感謝申し上げます。

「家族ふれあい読書」という意味の「家読」とは、読書を通じてコミュニケーションを図り、家族の絆を深める取組の事です。「家読」の方法に決まりはなく、各家庭にあったやり方で家族や身近な人と本に親しむことが大切とされています。今回、ご家庭で取り組んでくださったやり方は、以下の通りでした。中には、いくつもの方法で取り組んでくださったご家庭もありました。様々な効果があると言われている「家読」。

これを機に今後もぜひ、お子様と読書を楽しんでいただければと思います。



【今回取り組んだ家読の方法】

全校の延べ人数

① 同じ本を読んで話をする	38名
② 読み聞かせ（お家の人からお子さんへ）	28名
③ 読み聞かせ（お子さんからお家の人へ）	34名
④ 本の紹介（お家の人からお子さんへ）	9名
⑤ 本の紹介（お子さんからお家の人へ）	46名
⑥ その他	5名

保護者の皆様、たくさんの感想をありがとうございました！一部、ご紹介します。

- ・「家読」の方法を話していたら「私がお母さんに読み聞かせをしてあげる！」と言いだし、少しページがありましたが、最後まで読んでくれ成長を感じました。また、本を通して子供との時間を設けたいと思います。【母】
- ・文章と話し言葉を上手に読み分けて、感情をこめて読んでいて、聞いているこちらにも引き込まれました。すらすらと上手に読めていて成長を感じました。絵や本の内容について一緒に話せて楽しい時間でした。【母】
- ・二人で笑顔になりながら黙読でき、心がひとつになったような気持ちになり、とてもうれしかったです。【祖母】
- ・昔、子供の頃、読んでおもしろいと思った本を子供にすすめることができ良かった。本を読んでいるときに、興味を持って聞いてくれたので大変良かった。【父】
- ・子供と読み合いしたり、お姉ちゃんにも読んでもらったり、家族で取り組みました。楽しく話をしたり考えたり、とてもいい時間でした。【母】
- ・貴重な時間を共有できたことがうれしかった。【父】
- ・私自身あまり読書をする事ができないので、一緒に本を読むことができとてもいい時間になりました。お互いにおすすめの本を教え合って、一緒に読む時間を作っていきたいなと思いました。【母】
- ・ふだんは習い事で忙しく、なかなか子供と話す時間も少なくなっていました。宿題でこのような取り組みをしていただいたので、時間をつくって一緒にすることができました。次は、家族みんなで1冊の本を読んだりしてみたいです。【母】
- ・小さい頃の頃を思い出しました。とてもいい時間を過ごせて良かったです。【母】
- ・親子で感想を言い合いました。とても良い絵本でした。【父、母、妹】
- ・こういう偉人の伝記を読んで、何か自分にとって成長できるものを感じてもらえるといいなあと感じました。【父】
- ・子供の頃読んだ本で、なつかしさを感じた。今も昔も子供が好きなお本は、一緒なんですね。【祖母】
- ・本の内容を理解して他の人に伝えることは、本人の理解を根づかせることにもなるし、コミュニケーション、成長を感じられる等、とても良かったです。【母】

